

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 柏崎市立北鯖石小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒945-0113

新潟県柏崎市大字中田 1 7 4 3 番地 2

E-mail kitasaba@kenet.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 53名 女子 58名 合計 111名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自分だけでなく みんなのために 今だけでなく これからもずっと」を活動テーマとして、ESD を「地域・人・もの・自然と関わる活動」と捉え、ESD の実践を通して「みんなで考えるよさを実感しながら、ものの見方・考え方を広げ、深めていく子」の育成をめざした。

具体的には、自然、地域、せかい、いのちを柱に、①自然や環境問題に係わる活動、②地域の人や文化に係わる教育、③国際交流に係わる学習、④いのち、人権に係わる学習を行った。

① 自然や環境問題に係わる活動

夏休み前に市の環境政策課の「環境教育プログラム」に参加し、低・中・高の 3 つに分かれて授業を受けた。学年の発達段階に合わせてゴミ問題やエネルギー問題などを学び、自分にできることを考えた。高学年は、市内の大学で太陽光発電や風力発電について体験も交えて学ぶことができた。授業で学んだことを生かして、各自が夏休みに家庭でエコ活動に取り組んだ。

② 地域の人や文化に係わる教育

地域の老人会の方に講師になっていただき、「地域の方とふれ合う会」を毎年開催している。なわなひ、お手玉、コマ回しなどの6つのコーナーに分かれて昔遊びを体験した。生活科では、畑の先生に野菜の育て方を教えていただき、立派な野菜を収穫することができた。総合的な学習の時間には、地域探検（3年）や郷土料理づくり（4年）稲作体験（5年）職業体験（6年）を通して地域の人や文化と深く関わり、地域の良さを実感することができた。

③ 国際交流に係わる学習

年2回国際交流活動（ESD集会）を行っている。1回目は、県の国際交流課から、ロシア、ベトナム、韓国、アメリカ出身の方に来ていただき、4つの縦割り班に分かれて交流した。2回目は、市内の大学の留学生6人（ベトナム、中国、バングラディッシュ、モンゴル）と学年ごとに交流した。2回の国際交流活動を通して、子どもたちは日本と違う暮らし、食べ物、文化などを学ぶことができた。5年生は自分たちが作った米を留学生にプレゼントした。

④ いのち、人権に係わる学習

9月の学習参観で、全学級で人権教育、同和教育の授業公開を行った。授業後の懇談会は、子どもたちの人権感覚や人間関係づくりについて担任と保護者として情報交換や共通理解をする場となった。また、5、6年生は、人権擁護委員の方の人権教育の授業を受け、自分では気付かないところで差別的な言動や考え方をしている場合があるということを学ぶことができた。低学年はウサギの飼育を通していのちの大切さを感じることができた。



① 環境教育プログラムの授業（低学年）



② 地域の方との楽しいゲーム



③ ロシアの方との交流



④ みんなで作ったウサギ広場

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・子どもエコクラブ (ウェブサイト)
- ・エコ活絵日記
- ・環境教育プログラムワークシート (柏崎市環境政策課作成)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

グラウンドデザインに、当校の ESD の活動を通して目指す子どもの姿や具体的な活動を明記している。また、特別活動の中の ESD に係わる活動を明確にし、年度始めに全職員で年間の計画を立てている。各学年の全教科の年間指導計画（ESD カレンダー）は、①自然（緑）②地域（黄色）③せかい（青）④いのち（赤）につながる（係わる）活動が一目で分かるように色分けをしている。年間を通して内容やつながりを見直し、毎年 ESD カレンダーを更新している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度始めに、前年度の振り返りも兼ねて新任職員を対象に ESD に関する研修を行った。

全校の活動は、研究主任（環境教育主任）、教務主任（ESD 担当）を中心に計画を立て、全職員の共通理解のもと活動を進めている。国際交流活動は、国際理解教育主任が中心となって計画立案し、職員会議で内容を吟味し、活動を行っている。活動後は担当者を中心に振り返りを行い、反省を次の活動に生かすようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

児童アンケート「ESD マンとして、自分だけでなくみんなのために 今だけでなくこれからもずっと、と考えて活動したか」の設問で肯定的評価をした児童は 89%。がんばった内容は、自然・エネルギーの観点からは、節電、節水、給食を残さず食べる、花の水やりを忘れないなど。いのち・人権の観点からは、困っている人に声を掛ける、思いやりのある行動をする。あいさつをするなどが挙げられた。学校だよりや PTA 全体会、学校評議員会で報告し、意見や感想をもらった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

年間を通して、学校だよりや学年だより等で児童の活動の様子や成果などを発信している。11月の学習発表会では ESD の取組を保護者や地域住民に、2月の PTA 全体会や学校評議員会では、1年のまとめの形で活動の成果や課題を保護者や学校評議員に伝えている。3月には ESD パンフレット(A3 両面カラー刷り)を保護者や地域に配付している。このような発信を行うことで、保護者アンケートの「ESD の活動を理解している」の評価が上がってきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

「地域の方とふれ合う会」や5年生総合学習「米作りについて考えよう～稲作体験～」では、地域の老人会と連携し、充実した活動を行うことができた。

市の環境政策課の環境教育プログラムに参加し、5,6年生は市内の工科大学で風力発電や太陽光発電について体験を通して学習した。

国際交流活動では、市内の産業大学の留学生と交流した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現在は特にありません。今後については検討中(知人が勤務する海外日本人学校との交流を検討している)

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学習面では、話し合いや学び合い、地域での体験活動を通して、様々な人や考え方に会い、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。生活面では、相手を思いやって行動すること、協力して一つのことを成し遂げることのよさを縦割り班や学年での活動を通して感じる事ができた。環境委員、1年生、4年生がゴーヤ、アサガオ、ヘチマを育てて市のグリーンカーテンプロジェクトに応募し、優秀賞を受賞した。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

活動テーマ「自分だけでなく みんなのために 今だけでなく これからもずっと」。ESDの活動を「地域・人・もの・自然とかがわる活動」と捉え、実践を通して「みんなで考えるよさを実感しながら、ものの見方・考え方を広げ、深めていく子」の育成をめざす。自然、地域、せかい、いのちを柱に、①自然や環境問題に係わる活動、②地域の人や文化に係わる教育、③国際交流に係わる学習、④いのち、人権に係わる学習を行う。（平成29年度を同じ）

国際交流活動が1回のイベント的な活動で終わりがちであるという29年度の反省を踏まえ、学びがつながり、深まっていくように事前、事後の学習を充実させていくとともに、ESDカレンダー（年間指導計画）の中の位置付けや他教科とのつながりを明確にしていく。